



ましみずの里

天童市立高揃小学校
学校だより No.8
令和7年1月10日
校長 齊藤厚志

今年度のまとめの学期・来年度に向けての0学期スタート！ ～しっかりと締めくくり、来年度へつなげる～

保護者の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。2025年（令和7年）は、干支だと「巳」、十二支だと「乙巳」の年にあたります。この年は、再生や変化、成長や変革の年と言われています。努力を重ねて、物事を安定させていったり、困難を乗り越えて、新しい段階へ進んだりする年なのだそうです。ぜひそのような年になるよう、教職員一丸となって努力してまいりますので、3学期も引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

3学期がんばりたいこと『児童代表の言葉』

3学期がんばりたいこと

2年 児童代表

ぼくが3学期がんばりたいことは、3つあります。

1つ目は、字をていねいに書いたり、見直したりすることです。読む人にわかりやすい字を書けるようになって、漢字のテストでいい点をとりたいです。

2つ目は、授業のノートをたくさん書いて、たくさん学ぶことです。特に、国語の話すことが苦手なので、がんばりたいです。

3つ目は、人に自分からあいさつをすることです。ぼくは、自分からあいさつすることが苦手なので、3学期は自分からあいさつして、もっと友だちと仲良くなりたいたいです。

3学期頑張りたいこと

3年 児童代表

私は、3学期、4年生に向けてしっかり3年生の学習内容を身につけたいと思っています。そのために3学期頑張りたいことが2つあります。

1つ目は、漢字です。漢字の一部を書き忘れてしまったり、書き間違えたりしてしまいます。急いでいる時は、漢字の線同士がつながっていない時もあります。なので、漢字の形や書き順など、間違えないように復習ができるようになりたいです。

2つ目は、算数の計算です。問題を写し間違えたりすることが多くなってきています。問題の数を見間違えないように、目によく見て、計算の答えを間違えないようにしたいです。

3学期、友達と仲良く、しゃべったり、遊んだり、協力したりして、楽しい学校生活にしたいです。

『3学期 始業式 校長の話』



2025年、令和7年は、干支（えと）で言うと「へび年」、十二支で言うと「乙巳（きのと・み）の年」です。

へび年は、1989年、時代が昭和から平成に代わるなど、生まれ変わる、大きく変わる年とされています。さらには、へびのように、脱皮して力強く成長する年とも言われています。また、十二支の乙巳（きのと・み）という年は、「努力を続け、大変なことを乗り越えて、これまで困っていたことなどが良い方向に

変わっていく年」だそうです。今年が、そのような年になるように、これまでのみなさん一人一人の頑張りを、今年もぜひ続けていきましょう。

さて、新年の、そして、3学期の始めに当たって、みなさんとまた約束して、新たなスタートを切りたいと思います。約束は2つあります。

1つ目は、2学期に約束したことです。自分であまり考えもせず、ただ周りに合わせて何となく行動したり、おもしろおかしく行動したり、自分の感情のまま行動したりするのではなく、その時その時で、どうすることが正しいのか、どうすることが一番いいことなのかを、自分で精一杯考え実行するということです。難しい約束ですが、2学期よりもさらに自分でしっかりと考えることを心がけ行動していきましょう。



2つ目は、「もっともっと仲間を大事にする」ということです。当然、自分のことも大事にしなくてはなりません。それとともに、一緒に学校生活を送る仲間も大事にしていきましょう。仲間とは、先生方を含めた高橋小学校の人たち全員のことです。大事にする上で、キーワードになるのが「言葉」です。2学期以上に、仲間の話・言葉にしっかりと耳を傾けたり、ちくちく言葉ではなくふわふわ言葉をたくさん使ったりしてみましょう。2学期のいじめアンケートで多かった、相手を馬鹿にしたようなあだ名で呼んだり、わざと嫌がることを言ったりというのは、人として絶対やってはいけないことです。逆に、相手の気持ちが明るく元気に、そして、温かくなるような言葉をたくさん使っていきましょう。



今日の始業式に当たって、みなさんと2つのことを約束しました。「どうすることが正しいのか、一番いいことなのかを自分自身でしっかりと考え実行すること」、「温かい心で、温かい言葉を使って、仲間を大事にすること」、このことを全員が心がけ、この3学期、「みんなが力のつく、温かくて 楽しい 学校」を、ここにいるみんなで作っていきましょう。そして、今年度を良い形で締めくくりましょう。